

学校だより



川口市立元郷中学校

〒332-0003 川口市東領家1-8-3

TEL 048-222-4143 FAX 048-225-3222

令和2年11月16日 第356号

<https://motogo-j-kawaguchi-saitama.edumap.jp>

説明さえすれば全てがわかる・・・。

校長 高田 晶子

11月6日（金）にPTA執行部の皆さんが、校内の花の植え替えを行ってくれました。季節の花を目にすると、マスク着用の日々ではありますが、表情に笑顔が戻ってきます。登下校時の正門や通路、昇降口が明るくなりました。本当にありがとうございました。



かれこれ17年前にベストセラーになった 養老孟司氏の著書「バカの壁」をご存知の方は多いと思います。先日読み返してみました。本書の中に **なんでも簡単に、説明さえすれば全てがわかるように思うのはどこかおかしい。・・・説明したってわかることばかりじゃない。「ビデオを見たからわかる」「一生懸命サッカーを見たからサッカーがどういうものかわかる」・・・わかるというのはそういうものではない。**という一節があります。

学習をしたという理由だけで、「わかっている」と思い込んでしまう勘違いをしているのではないかと書かれていました。言葉による説明は、それだけで伝えられないこと、理解されないことがたくさんあるのが現実なのだと思います。一定の情報を得ただけで「わかっている」と思い込んでしまう。そこには、正解を求めて安心したいという人間の欲求があるからなのでしょう。情報があまたに溢れるこの社会の中で、正しいのではないかと情報を探するのは一苦労です。

では、実際に経験したことはどうでしょうか。「百聞は一見にしかず」という諺にもあるように、自分の目で触れて、見て、感じた経験からは、「わかっている」といえることも多くあるように思います。養老氏によれば、日本人には、本質的に真実は何か、事実は何か、と追求する癖が無いと書かれています。一方的な説明だけでなく、共に考える、一緒に考えるという作業が、身近にできる方法の一つなのかもしれません。

感染拡大「第3波」のニュースに、感染予防の油断できない日々が続きます。新しい生活様式に少しばかり慣れたかのように思っていたのですが、そう簡単に今までの生活を崩せるものではないということも感じます。これからの充実した生活を考えるには、まだ少し時間がかかりそうです。

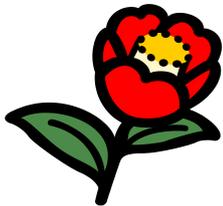
今年も残すところ一ヶ月半となりました。模索する学校現場の教育活動も生徒の声を聴きながら、先生方の工夫により、例年にはない明るい穏やかな生活ができています。保護者の皆様には、三者面談にご協力いただきありがとうございました。1・2年生は担任との初対面での会話になった方も多くいたと思います。ご心配をおかけしました。対面形式の懇談ができ、担任にも優しい表情が満ちてきました。

今後の教育活動もどうぞよろしく願いいたします。

11月の行事予定



| 日 | 曜 | 行事 | 給食 |
|----|---|-----------------|----|
| 16 | 月 | | ○ |
| 17 | 火 | | ○ |
| 18 | 水 | | ○ |
| 19 | 木 | テスト1週間前 | ○ |
| 20 | 金 | | ○ |
| 21 | 土 | | — |
| 22 | 日 | | — |
| 23 | 月 | 勤労感謝の日 | — |
| 24 | 火 | | ○ |
| 25 | 水 | | ○ |
| 26 | 木 | 期末テスト | ○ |
| 27 | 金 | 期末テスト 5組スポーツ交流会 | ○ |
| 28 | 土 | | — |
| 29 | 日 | | — |
| 30 | 月 | | ○ |



12月の行事予定

| 日 | 曜 | 行事 | 給食 | 日 | 曜 | 行事 | 給食 |
|----|---|---------------------|----|---------------------|---|------------------------------|----|
| 1 | 火 | | ○ | 17 | 木 | | ○ |
| 2 | 水 | | ○ | 18 | 金 | 学期末保護者会(1, 2年・5組) 14:30 | ○ |
| 3 | 木 | | ○ | 19 | 土 | | — |
| 4 | 金 | | ○ | 20 | 日 | | — |
| 5 | 土 | 制服採寸(体育館) | — | 21 | 月 | 校内委員会 リフレッシュデー | ○ |
| 6 | 日 | | — | 22 | 火 | | ○ |
| 7 | 月 | 職員会議 3年実力テスト ふれあいデー | ○ | 23 | 水 | 給食終了 学年集会・学活・大掃除 | ○ |
| 8 | 火 | | ○ | 24 | 木 | 終業式 職員会議 記録通知書配布 | — |
| 9 | 水 | | ○ | 25 | 金 | 冬季休業日~1/7 記録通知書確認 学力アップ教室 | — |
| 10 | 木 | | ○ | 26 | 土 | 学力アップ教室 | — |
| 11 | 金 | 学年末短縮↓ | ○ | 27 | 日 | | — |
| 12 | 土 | | — | 28 | 月 | | — |
| 13 | 日 | | — | 29 | 火 | | — |
| 14 | 月 | | ○ | 30 | 水 | | — |
| 15 | 火 | | ○ | 31 | 木 | | — |
| 16 | 水 | | ○ | ※行事予定は変更される場合もあります。 | | | |

11月は児童虐待防止推進月間です

保護者、学校関係者、地域の皆さまへ

「児童虐待の根絶に向けて～地域全体で子供たちを見守り育てるために～」

子供たちへの虐待は、児童相談所の相談対応件数が増加するなど、依然として極めて深刻な状況です。今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から、生活不安やストレス等に伴い、児童虐待のリスクが高まることも懸念されています。児童虐待により子供たちが傷つき、亡くなるようなことは、何としても無くさなければなりません。

虐待は、殴る、蹴るといった身体的虐待だけではなく、言葉で脅す、無視するなどの心理的虐待、子供を残して外出する、自動車の中に放置する、食事を与えないなどのネグレクトや性的虐待もあります。いずれも子供たちの心身に深い傷を残します。

保護者の皆さま、大切なお子さまの健やかな成長のため、「虐待はしない」と誓ってください。子育てに不安や悩みがある時には、身近な人に相談したり、自治体の相談窓口等を頼ってください。

学校関係者の皆さま、日頃から子供たちと接する中で、児童虐待と疑われる事案に気付いた際には、速やかにチームとして対応し、市町村や児童相談所に通告するとともに、関係機関と連携して対応してください。

地域で子供たちと接する皆さま、是非、子供たちの様子に関心を持って見守ってください。日々の活動やつながりの中で児童虐待と疑われる事案に気付いた際は、最寄りの児童相談所に繋がる全国共通ダイヤル「189」（いちはやく）に相談・通告してください。

児童虐待の防止には、家庭・学校・地域が一丸となって子供たちを見守り、育てることが重要です。文部科学省としても、関係省庁とともに取組を推進してまいります。皆さまの御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

令和2年11月 文部科学大臣 萩生田光一

元郷中学校 冬の事故防止運動

本校では、部活動での自転車移動が今後増えることや年末年始で交通量が増加すること、更に日没時刻が早まったことを受け、総合や特別活動の時間で「元郷中学校 冬の事故防止運動」を実施しています。活動内容の一部をご紹介します。

①「交通安全に関する〇×クイズ」

Q1 自転車のライトは周りが暗くなってきても、自分で道が見えていれば点灯しない。

Q2 自転車用ヘルメットを着用すれば、事故時の死亡率を4分の1に抑えることができる。

② 実際に自転車を運転している場面のイラストを提示して、どんな危険が潜んでいるかを考えるロールプレイ

この活動を通して、生徒一人ひとりの交通安全に対する意識が少しでも向上するよう指導していきます。ご家庭でも交通安全についてお話いただければと思います。

シリーズ 「学校・家庭・地域とともに」②

ここ数年で、スマホ普及やオンラインアプリの増加・多様化にともない、中学・高校でのネットやスマホの使用をめぐる問題が深刻になっています。これは、元郷中学校でも大きな問題と捉えています。心身ともに健全な成長を願う大人の見守りは、とても大切です。

今月は「長時間のスマホ使用」について、考えてみましょう。

夜更かしによる生活の乱れ

夜遅くまでスマホをしているため、朝決まった時間に起きられなくなり、寝不足によって脳の働きがにぶくなり、体調不良で学校に行けなくなります。



やるべきことができない

スマホ使用時間をコントロールできずに、だらだらと長時間やることによって、外出、習い事、就寝時間などの時間が守れなくなります。入浴や歯磨きも面倒くさくなることがあります。



家族団らんがなくなる

スマホをいじりながら食事、同じ部屋にいてもスマホ、話しかけてもスマホに夢中で聴こえないなど、家族との意思疎通ができなくなります。



暴力・暴言

スマホ使用で注意すると、逆ギレして「うるせ～な～」などと言います。スマホを使用していない時にイライラしていることもあります。



<大切なのは、一緒に話し合うこと>

○LINEにはまっている場合

誰と話しているのか、そのLINEでどのようなことを話しているのか聞いてみましょう。急いで連絡をとらなければいけないLINE、既読スルーでもいいLINEはどれか、自分の中で決めながら使えることが大切です。

○オンラインゲームにはまっている場合

誰と何のゲームをどのくらいやっているのか、やっている時の気分なども一緒に聞いてみましょう。自分の意思ではなく何となくやっているだけかもしれません。声に出すことで、必要性や時間を意識した使い方を考えるようになります。使用時間を話し合いながら一緒に決めます。

○話し合いができない場合

家族と話しができないほどスマホをしている場合には、第三者の介入が必要です。専門相談機関や専門病院に受診を進め、今の状態から抜け出さなければいけません。横から取り上げるなどの感情を刺激するような行動はしないようにしましょう。